

## 第3回街道学習講座

なるほど！歩いて楽しい大山街道  
同行記③

5月31日（木）午後1時、今にも泣き出しそうな空のもと、東急田園都市線三軒茶屋駅の改札口前に、講師を含め総勢26名が集まりました。

三軒茶屋は、なかなかにぎやかな街です。私が学生時代に訪れた40年くらい前は、新玉川線\*1と呼んでいてまだ緑が多かったイメージがありました。おしゃれな街に変わったものだと昔に想いを馳せながら史跡を巡り、用賀まで歩きました。水道道路の説明やおそらくこのような企画でないといけないような常盤塚（ときわづか）の悲恋の話を聞きました。

また、私は作品を読んだことはないのですが、直木賞作家の寺内大吉氏の生家の大吉寺を訪れ、これまた有名なのに、まだ行ったことのないボロ市の通りを歩きました。そして今回私の一番印象的だった場所、国の指定重要文化財の世田谷代官屋敷とその敷地内にある世田谷区立郷土資料館に向かいました。とても都会とは思えない落ち着いたたたずまいにすっかり魅了されました。もう少しゆっくり見たい充実した展示品のある資料館でした。しかし、雨がポツポツ降ってきたので先を急ぎました。ほとんど傘の出番がなく、無事にゴールすることができました。

（担当 ふるさと館 富澤）

\*1) 2000年8月に田園都市線に名称変更



## 川崎市大山街道ふるさと館

<利用案内>

—ふるさと館案内図—

電話：044 (813) 4705 FAX：044 (712) 0034

〒213-0001 川崎市高津区溝口 3-13-3

開館時間 ・9:30～21:30 (展示:10時～17時)

休館日 ・年末年始(12月28日～1月4日)

施設点検日 ・毎月の最終金曜日

(本年度12月は21日)

当館では、イベントホール(定員64名)、第1会議室(12名)、第2会議室(30名)、和室(10名)が利用できます。

団体登録・個人登録ともに申し込みができます。



JR南武線 武蔵溝ノ口駅 下車 徒歩7分  
東急田園都市線 高津駅 下車 徒歩5分

※本年3月19日発行「ふるさと館だより 52号」で第3回歴史探究講座報告に使用した「二子橋」の写真については、裏焼で掲載しておりました。訂正し、お詫びいたします。

大山街道

ふるさと館だより

No. 55

2018. 9. 25

〒213-0001 川崎市高津区溝口 3-13-3 Tel: 044-813-4705 Fax: 044-712-0034 http://furusatokan.web5.jp/

## 第2回企画展・記念講演会 好評のうちに終わる！

## 第2回企画展「明治維新期の多摩川との共生～治水と利水～」

(6月23日～7月31日開催)

[企画展概要]

- 江戸幕府は防衛上、多摩川には橋を架けていなかった。そのため、幕末には、外国人が横浜を中心に10里四方に行かないように規制したが、多摩川は境界線の役目を果たした。
- 多摩川は暴れ川で、洪水で被害をもたらす一方、二ヶ領用水の水の取り入れ口でもあり、その二ヶ領用水は飲料水や稲作に欠かせない貴重な水だった。
- 二ヶ領用水はよく壊れ、修繕がたびたび求められ、その修繕願いも記録に残されている。幕府は修繕費を出したが、明治政府は受益者負担の方針だったので、村の出費が多く、負担になっていた。
- 江戸時代には、多摩川で鮎などの漁獲は禁止されたが、明治になり禁止が解かれると、人々は漁業で恩恵にあずかった。



## 第2回企画展記念講演会報告(講演内容要旨)

テーマ「明治維新の多摩川との共生～治水と利水～」

◇開催日時：7月15日(日) 午前10時～12時 ◇参加者：43名

◇講師：根本 佐智子氏(神奈川県立歴史博物館学芸員)

- 明治維新时期当時も、川崎市と東京の間に流れている多摩川は暴れ川で、多くの洪水があり、その被害は甚大であった。しかも江戸時代の多摩川は幕府防衛上、橋をかけることが許されず、人々は渡し船を使い物資や人々を運んでいた。
- 江戸時代初期に米の生産量を高めるため、二ヶ領用水を開削し、多摩川から用水を引いた。その用水は川崎の人々にとって飲料水や米などの作物を育てる田畑をうるおす生命の水であった。
- 多摩川の鮎は、多摩川を徳川幕府の御留(おとめ)川として献上されていたが、明治時代になり人々に解禁され、自由に漁ができるようになったので、恩恵にあずかった。
- 二ヶ領用水は開削から300年も経ち、いろいろな所が老朽化して、補修しなければならなかったが、明治時代になると、政府の援助がなくなり、受益者負担となったので、村人には厳しい負担となった。

■「資料を示して、分かりやすく解説していただきました」という声が多くありました。

## <子ども大山街道探検クラブ>活動報告

～テーマを決めて真剣に取り組みました～

7月と8月は自由研究への取り組みが活動の中心です。

7月18日(水)に、研究に取り組む姿勢や進め方についてふるさと館職員から説明をいたしました。子ども達は研究テーマを何にしようか、作品作りのポイントはどんなことなのかをイメージしながら熱心に耳を傾けていました。大山街道に関連したことを調べる子、環境問題を考えた



たい子、お祭りや月の観察など、興味や感心のあることをテーマにしました。夏休みの間に実際に歩いて調べたり見学に行ったり、本など、さまざまな方法で調べたことを、7月25日、8月1日、15日のクラブ活動日やその他日程を調整して、猛暑の中ふるさと館に通い、個性あふれる作品を模造紙にまとめていました。完成した作品は、順次学校やふるさと館などに展示する予定です。



## 第45回高津区民祭報告

第45回高津区民祭が、高津区民祭実行委員会主催により7月29日(日)に大山街道及びその周辺で盛大に開催されました。ふるさと館には、区民祭本部が設けられ、13時45分からのオープニングセレモニーには、福田市長、高梨区長、瀧村実行委員長をはじめ、多くの関係者の皆様が出席のもと区民祭がスタートしました。

大山街道では次から次へとパレードが続き、高津地区連合町内会の皆さんによる納太刀(おさめだち)の行列も行われ、注目を集めました。納太刀は、大山詣りの旅人が開運・厄除けを祈願して、大山阿夫利神社の石尊神(せきそんしん)に奉納した太刀です。区民祭で披露された納太刀は、高津地区連合町内会が制作し、ふるさと館に展示しています。

折からの猛暑にもかかわらず、大山街道沿いはたいへんな賑わいで、高津区の皆さんの区民祭を楽しみにされている熱い思いを感じた一日でした。なお、ふるさと館では、区民祭参加事業として、平成30年度第2回企画展「明治維新期の多摩川との共生—治水と利水」を開催しており、この日も多くの皆様にご覧いただくことができました。



## 街道学習講座

## なるほど!歩いて楽しい大山街道 参加者募集

大山道研究者の中平龍二郎氏と錦秋の大山街道を歩きませんか。皆様のご要望にお応えして秋季も3回シリーズで実施します。

★日時とコース ※行程の都合上12:00には出発します

	日時・コース	集合場所・集合時刻
第1回	10月25日(木) 12:00~15:00 用賀駅~二子新地駅	田園都市線 用賀駅改札口前集合 *集合時刻 11:45
第2回	11月8日(木) 12:00~15:00 二子新地駅~梶が谷駅	田園都市線 二子新地駅東口改札口前集合 *集合時刻 11:45
第3回	11月22日(木) 12:00~15:00 梶が谷駅~鷺沼駅	田園都市線 梶が谷駅改札口前集合 *集合時刻 11:45
※予備日	11月29日(木)	

※小雨でも実施します。中止の場合は、原則として前日の夜に参加者の皆様にご連絡します。

★定員: 25名(先着順、要申込) ★参加費: 3回分で2,000円(保険料及び資料代含む)  
※参加費は3回分として第1回目に集金します。2回目以降欠席された場合、払い戻しはいたしませんのでご了承ください。

★申込み: 9月25日(火)9時半から電話・FAX・窓口で受け付けます。

## <出前授業>報告

館日より53号でもご紹介しましたが、大山街道ふるさと館では、「出前授業」として、近隣の小学校に出かけ、地域の学習のお手伝いをしています。今年度すでに3校(久本小・東高津小・坂戸小)で実施しています。主に、高津や二子の地域、大山街道、二ヶ領用水について、ふるさと館の専門スタッフが、映像資料などを使用して解説をしています。各学校からも地域の方々からもご好評をいただいている、当館の代表的な事業です。



## <ぶらり散歩>

## 二子の散策後「老舗料亭やよい」でお茶を飲みませんか

日時: 11月2日(金) 午後1時~3時(雨天決行)

会場: 二子周辺 及び 老舗料亭「やよい」

集合場所: 東急田園都市線 二子新地駅東口改札口前

集合時刻: 12時45分

参加費: 1,500円(保険料および抹茶・和菓子セットを含む)

定員: 20名(先着順)

申込み: 10月2日(火)9:30から電話、FAX、窓口で受け付けます。

